

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第2区分  
【発行日】令和7年7月4日(2025.7.4)

【公開番号】特開2024-177207(P2024-177207A)  
【公開日】令和6年12月19日(2024.12.19)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-238  
【出願番号】特願2024-167997(P2024-167997)  
【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00(2006.01)

10

A 6 1 K 47/64(2017.01)

A 6 1 K 38/19(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 P 37/04(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

A 6 1 K 38/17(2006.01)

C 0 7 K 19/00(2006.01)

C 0 7 K 14/195(2006.01)

C 1 2 N 15/117(2010.01)

C 0 7 K 14/535(2006.01)

20

C 0 7 K 14/47(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 47/64

A 6 1 K 38/19

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 38/17

C 0 7 K 19/00 Z N A

30

C 0 7 K 14/195

C 1 2 N 15/117 Z

C 0 7 K 14/535

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 19/00

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月2日(2025.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

40

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

免疫原性成分として、有効量のMICアルファ3-ドメインペプチドを含むペプチドを含むワクチン組成物であって、

有効量が、MICアルファ3-ドメインペプチドに対する免疫反応を誘発するために有効な量であり、

ペプチドが、SEQ ID NO: 3またはSEQ ID NO: 4のアミノ酸配列を含む、

50

ワクチン組成物。

【請求項 2】

MICアルファ3-ドメインが非グリコシル化型である、請求項1記載のワクチン組成物。

【請求項 3】

ペプチドが担体タンパク質へコンジュゲートされている、請求項1記載のワクチン組成物。

【請求項 4】

GM-CSFポリペプチドもしくはその断片、ポリイノシン酸：ポリシチジル酸(ポリ(LC))、コレラ毒素、エンテロトキシン、Fms様チロシンキナーゼ-3リガンド、ブピバカイン、マーカイン、またはレバミゾールをさらに含む、請求項1記載のワクチン組成物。

10

【請求項 5】

免疫化スキャフォールドをさらに含む、請求項1記載のワクチン組成物。

【請求項 6】

免疫化スキャフォールドがメソポーラスシリカを含む、請求項5記載のワクチン組成物。

【請求項 7】

化学的アジュバント、遺伝的アジュバント、タンパク質アジュバント、脂質アジュバント、油性アジュバント、無機塩アジュバント、無機塩ゲルアジュバント、粒子状アジュバント、マイクロ粒子状アジュバント、粘膜アジュバント、またはサイトカインをさらに含む、請求項1記載のワクチン組成物。

【請求項 8】

化学的アジュバントが、リン酸アルミニウム、塩化ベンザルコニウム、ウベニメクス、またはQS21を含む、請求項7記載のワクチン組成物。

20

【請求項 9】

遺伝的アジュバントが、IL-2遺伝子もしくはその断片、顆粒球マクロファージコロニー刺激因子遺伝子もしくはその断片、IL-18遺伝子もしくはその断片、ケモカインリガンド21遺伝子もしくはその断片、IL-6遺伝子もしくはその断片、CpGオリゴヌクレオチドもしくはその断片、LPS、TLRアゴニスト、または免疫刺激遺伝子を含む、請求項7記載のワクチン組成物。

【請求項 10】

タンパク質アジュバントが、IL-2もしくはその断片、顆粒球マクロファージコロニー刺激因子もしくはその断片、IL-18もしくはその断片、ケモカインリガンド21もしくはその断片、IL-6もしくはその断片、CpG、LPS、TLRアゴニスト、または免疫刺激サイトカインもしくはその断片を含む、請求項7記載のワクチン組成物。

30

【請求項 11】

脂質アジュバントが、カチオン性リポソーム、カチオン性脂質、またはモノホスホリルリピドA(MPL1)を含む、請求項7記載のワクチン組成物。

【請求項 12】

免疫原性成分として、SEQ ID NO: 3またはSEQ ID NO: 4のアミノ酸配列を含むペプチドを含むワクチン組成物であって、

メソポーラスシリカ、GM-CSFポリペプチドまたはその断片、およびCpGオリゴヌクレオチドまたはその断片をさらに含む、

40

ワクチン組成物。

【請求項 13】

MICアルファ3-ドメインペプチドをコードする合成核酸であって、ペプチドがSEQ ID NO: 3またはSEQ ID NO: 4のアミノ酸配列を含む、合成核酸。

【請求項 14】

請求項13記載の合成核酸を含む、ベクター。

【請求項 15】

請求項14記載のベクターを含む、細胞。

【請求項 16】

50

請求項13記載の合成核酸を含む、ワクチン組成物。

【請求項17】

対象におけるがんを治療するための、請求項1記載のワクチン組成物。

【請求項18】

前記対象が、血清中の脱落MICについての検査で陽性であった、請求項17記載のワクチン組成物。

【請求項19】

がんが、MICAの過剰発現と関連している、請求項17記載のワクチン組成物。

【請求項20】

治療レジメンの一環として投与される、請求項17記載のワクチン組成物。

【請求項21】

治療レジメンが、放射線療法、標的療法、免疫療法、または化学療法である、請求項20記載のワクチン組成物。

【請求項22】

MICアルファ3-ドメイン抗原以外の抗原について特異的な1つまたは複数のワクチンと組み合わせて対象へ投与される、請求項17記載のワクチン組成物。

【請求項23】

対象におけるがんの進行を予防するための、請求項1記載のワクチン組成物。

【請求項24】

がんの進行を予防することが、がんの転移を予防することまたは腫瘍成長を遅らせることを含む、請求項23記載のワクチン組成物。

【請求項25】

前記対象が、血清中の脱落MICについての検査で陽性であった、請求項23記載のワクチン組成物。

【請求項26】

がんが、MICAの過剰発現と関連している、請求項23記載のワクチン組成物。

【請求項27】

対象におけるがんの臨床的退行を引き起こすための、請求項1記載のワクチン組成物。

【請求項28】

前記対象が、血清中の脱落MICについての検査で陽性であった、請求項27記載のワクチン組成物。

【請求項29】

がんが、MICAの過剰発現と関連している、請求項27記載のワクチン組成物。

【請求項30】

対象におけるMICアルファ3-ドメインに対する免疫反応を誘発するための、請求項1記載のワクチン組成物。

【請求項31】

MICアルファ3-ドメインに対する免疫反応を誘発するが、MICアルファ1-ドメインに対してもMICアルファ2-ドメインに対しても免疫反応を誘発しない、請求項30記載のワクチン組成物。

【請求項32】

前記対象が、血清中の脱落MICについての検査で陽性であった、請求項30記載のワクチン組成物。

【請求項33】

がんが、MICAの過剰発現と関連している、請求項30記載のワクチン組成物。

10

20

30

40

50